

(様式第2号)(第14条関係)

太陽光発電施設設置許可申請書

令和7年 10月 31日

長野県知事 様

住所 長野県上田市中央2-10-15
氏名 株式会社グリーンプランフォー
代表取締役 小林桂三

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第14条第1項の規定により、下記のとおりに申請します。

記

太陽光発電施設の設置の場所		小県郡長和町和田字野多谷5094-10, 5094-5
事業区域の位置及び面積		別添位置図及び事業区域図のとおり 2261.29m ²
太陽光発電施設の合計出力		49.5 kW (太陽電池の合計出力 109.2kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (無し 小売電気事業者との相対契約)
	設置工事着手予定日	令和 7年 11月 29日
	設置工事完了予定日	令和 8年 5月 29日
	運転開始予定日	令和 8年 6月 29日
	施設撤去予定日	令和 48年 6月 29日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		スクリュー杭、アルミ架台、パネル角度20度
景観保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。		「環境の保全のための措置の検討状況書」参照
備考		連絡先 株式会社グリーンプランフォー (電話番号) 0268-71-6750 (FAX番号) 0268-71-6751 (電子メールアドレス) kinokopw4170@gmail.com

注1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法(平成23年法律第108号)第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 登記事項証明書（申請者が法人である場合に限る。）
 - 4 誓約書
 - 5 太陽光発電施設の配置図
 - 6 土地の形質変更を行う場合にあつては、当該土地の造形計画の平面図、縦断面図及び横断面図
 - 7 擁壁を設置する場合にあつては、当該擁壁の構造図
 - 8 排水計画に係る平面図及び断面図
 - 9 太陽光発電施設の構造に関する図面
 - 10 現況写真
 - 11 条例第11条の書面
 - 12 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☒ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☐ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☒ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☐ 該当なし		
工程表	別紙		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 3 台 / 1 日（延べ 400 台） 運行時間 8：00～17：00 経路 別紙事業区域図に記入		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☒ 無	想定盛土量 m ³
	切土の有無	☒ 有 ・ 無 (土側溝のみ)	想定切土量 30 m ³ 小堤を作り、残りは事業区域内に敷き均す。
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		m ³
排水処理設備の有無	☒ 有 ・ 無		
	排出経路	土側溝にて自然浸透	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

太陽光発電所 工事計画（和田5094-10,5094-5）

,

		2025年				2026年			
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
工事内容	準備・整地	▽		▽					
	杭打ち			▽	▽				
	パネル設置				▽		▽		
	フェンス設置						▽	▽	
	電気工事						▽	▽	
	電力関係								☆
	完了								□
							運転開始2026年6月を目途		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	稜線や斜面、高台ではない。 土地の掘削はせず、地形に合わせた設置計画にした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	小規模設置のため景観への影響は少ない
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	住宅や主要道路には隣接していない。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	大規模な平滑面が連続しないようにアレイを小さくして計画した。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	施設の高さは最低限必要な積雪に対応した高さとした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	広範囲にならないよう隔離などを最小限に抑えて設置面積を極力抑えた。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	パネル設置計画において出来るだけ同じ方角にそろえ、列を合わせ規則性を持たせた。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	地形に合わせた設置により周囲との整合性に配慮した。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	裏面は山林や原野なので見えない。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		周囲に配慮し、反射防止コーティングされたパネルを選定した。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		周囲に配慮し濃紺のパネルを選定した。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	出来るだけ反射の少ないものを選定するよう配慮した。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	メーカーの仕様として同系色にすることが難しかった。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		自然の色に近いものを選定し支柱は茶色とした。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		中部電力の指示に従い、対応をしていく。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		できる限り色彩に配慮し、自然と調和の取れるものを選定した。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		天然更新とする。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		天然更新とする。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		配置や向き、傾斜角や材料などは近隣の方に迷惑をかけないように十分配慮していきたい。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		月に1～2回定期点検を行う
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		適合を確認し、出来る限りの努力をした。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

眺望点からの完成予定図

指定眺望点である湯遊パーク総合グラウンドからは、眺望方向の範囲外のため見えない。



行為地

(参考様式) (第8条関係)

環境の保全のための措置の検討状況書

①検討の 対象項目	②事 業 内 容	③チェック	④環境保全措置の具体的な内容※1, 2, 3, 4
粉じん	(1) 事業区域に住居等が隣接するか	☐ はい ☒ いいえ	【(1)、(2)が <u>どちらも</u> 「はい」の場合に記載】
	(2) 切土・盛土を行う計画か	☒ はい ☐ いいえ	
騒音・振動	(3) 建設機械が稼働する計画か	☒ はい ☐ いいえ	【(3)、(4)が <u>どちらも</u> 「はい」の場合に記載】
	(4) 次のいずれかに該当するか ・近隣に住居等が存在する ・工事用車両の走行ルート沿いに住居等が存在する	☐ はい ☒ いいえ	
水環境	(5) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・水道水源保全地区 ・水資源保全地域	☐ はい ☒ いいえ	【(5)、(6)が <u>どちらも</u> 「はい」の場合に記載】
	(6) 次のいずれかに該当するか ・薬液注入工法を採用する ・事業区域内で農薬を使用する	☐ はい ☒ いいえ	
動植物	(7) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・国立公園、国定公園、県立自然公園 ・長野県自然環境保全地域 ・希少野生動植物の生息地等保護区	☐ はい ☒ いいえ	【(7)～(8)の<u>いずれか又は両方</u>が「はい」の場合に記載】 県庁環境部自然保護課に確認。 希少種の生息や生育情報は得られなかったため、環境保全措置は行わない。

①検討の 対象項目	②事 業 内 容	③チェック	④環境保全措置の具体的な内容※1, 2, 3, 4
	(8) 事業区域内の次のいずれかの区域において、切土・盛土や樹木の伐採を行うか ・ 国有林、地域森林計画対象民有林 ・ 郷土環境保全地域 ・ 鳥獣保護区	☒ はい ☐ いいえ	
触れ合い 活動の場	(9) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・ 国立公園、国定公園、県立自然公園 ・ 郷土環境保全地域	☐ はい ☒ いいえ	【(9)、(10)がどちらも「はい」の場合に記載】
	(10) 次のいずれかに該当するか ・ 事業区域に触れ合い活動の場が含まれる ・ 事業区域や工事用車両の走行ルートが触れ合い活動の場に隣接する	☐ はい ☒ いいえ	

※1 ③列にチェックした結果、環境保全措置の検討が必須である場合において、環境保全措置を検討した結果、環境保全措置を不要と判断したときは、その旨及び理由を④列に記載すること。

※2 環境影響評価法又は環境影響評価条例の対象事業については、環境保全措置の具体的な内容の記載に代わり、環境影響評価図書（事業基本計画書においては計画段階環境配慮書や環境影響評価方法書、許可申請書又は設置届出書においては環境影響評価書）の写しを添付することも可能。

※3 許可申請書又は設置届出書の作成にあたり、事業基本計画書から④列の内容を変更した場合は、変更後の内容及びその理由を④列に記載すること。（④列のうち、変更していない箇所には、従前のとおり記載すること。）

※4 ③列にチェックした結果、環境保全措置の検討は必須ではないが、事業者が必要と判断して検討した環境保全措置の内容を④列に記載することは可能。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日

2025 年 9 月 9 日

太陽光発電施設の設置場所	小県郡長和町和田字野多谷 5094-10, 5094-5	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	長野県上田市中央 2-10-15 株式会社グリーンプランフォー 代表取締役小林桂三 TEL：0268-71-6750 FAX：0268-71-6751	
保守点検責任者	氏名及び住所	同上
	電話番号	同上
合計出力	49.5 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 48 年 6 月 29 日	
損害保険の加入状況	☐ 有 ☒ 無	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	自社にて撤去を行い、天然更新により復旧予定。	
維持管理計画及び状況の公表方法	月 1～2 回の自社による定期点検 請求があった際に開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

中部電力、行政と連携をとり速やかに対応できるようにする。

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じた時には、二次災害が起きないように速やかに損壊部分を撤去し、周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合には復旧作業を行い、いち早く元通りになるよう最善を尽くす。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☒	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年 24 回	1日 15日
			端子箱に破損、変形がないか			
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。			
	☒	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。			
	☒	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。			
	☒	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。			
	☒	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。			
			接続部に緩み、破損がない。			
	☒	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。			
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。			
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。			
			ボルト、ナットの緩みがない。			
			固定強度に不足の懸念がない。			
接続箱	☒	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			
			雨水、じんあい等の侵入がない。			
	☒	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。			
漏電遮断器	☐	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。			
	☐	配線	配線に著しいきず、破損がない。			
パワーコンディショナー	☒	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。			
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない			
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。			

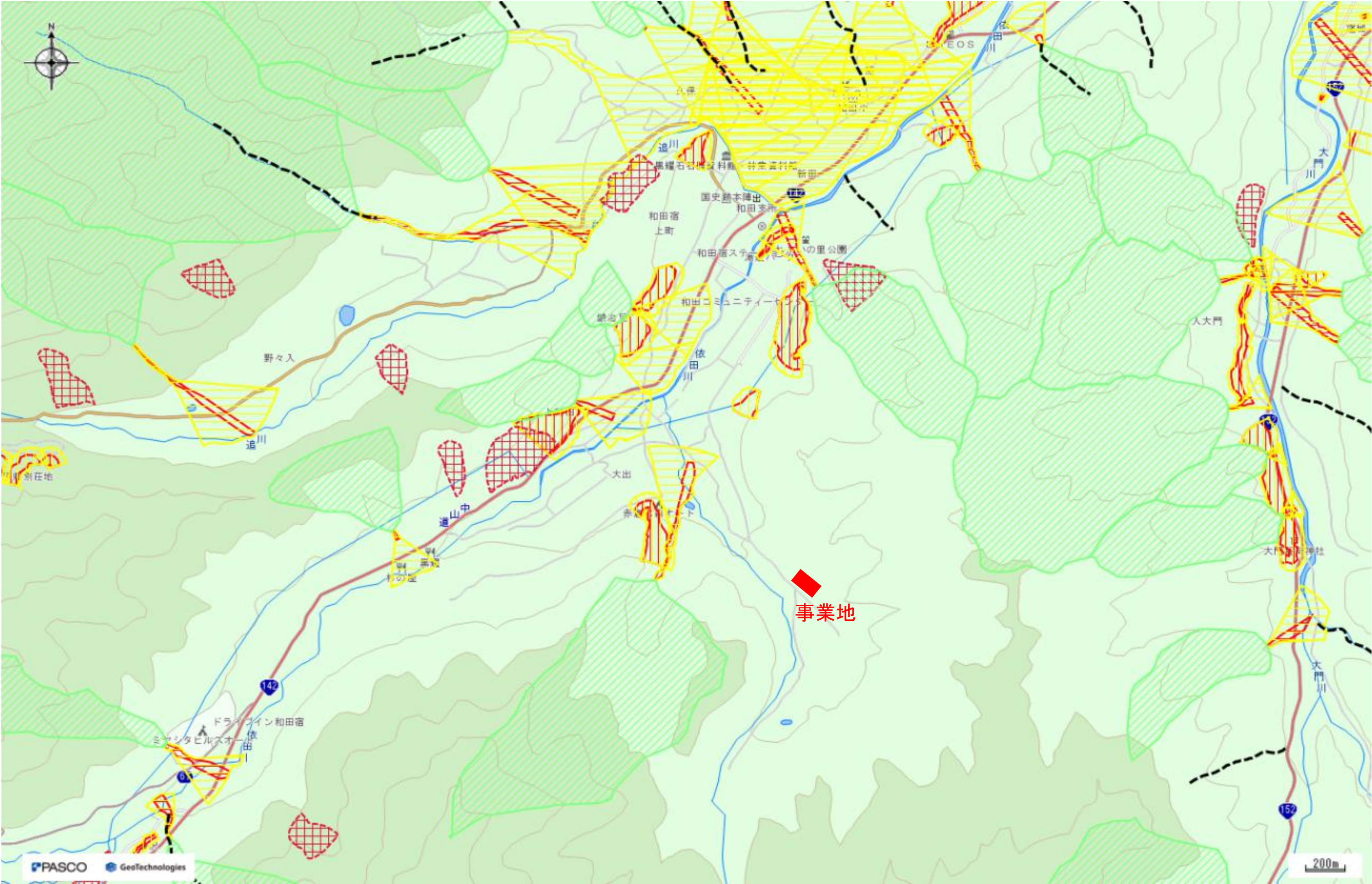
附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 24 回	1日 15日
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☒	土側溝	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			

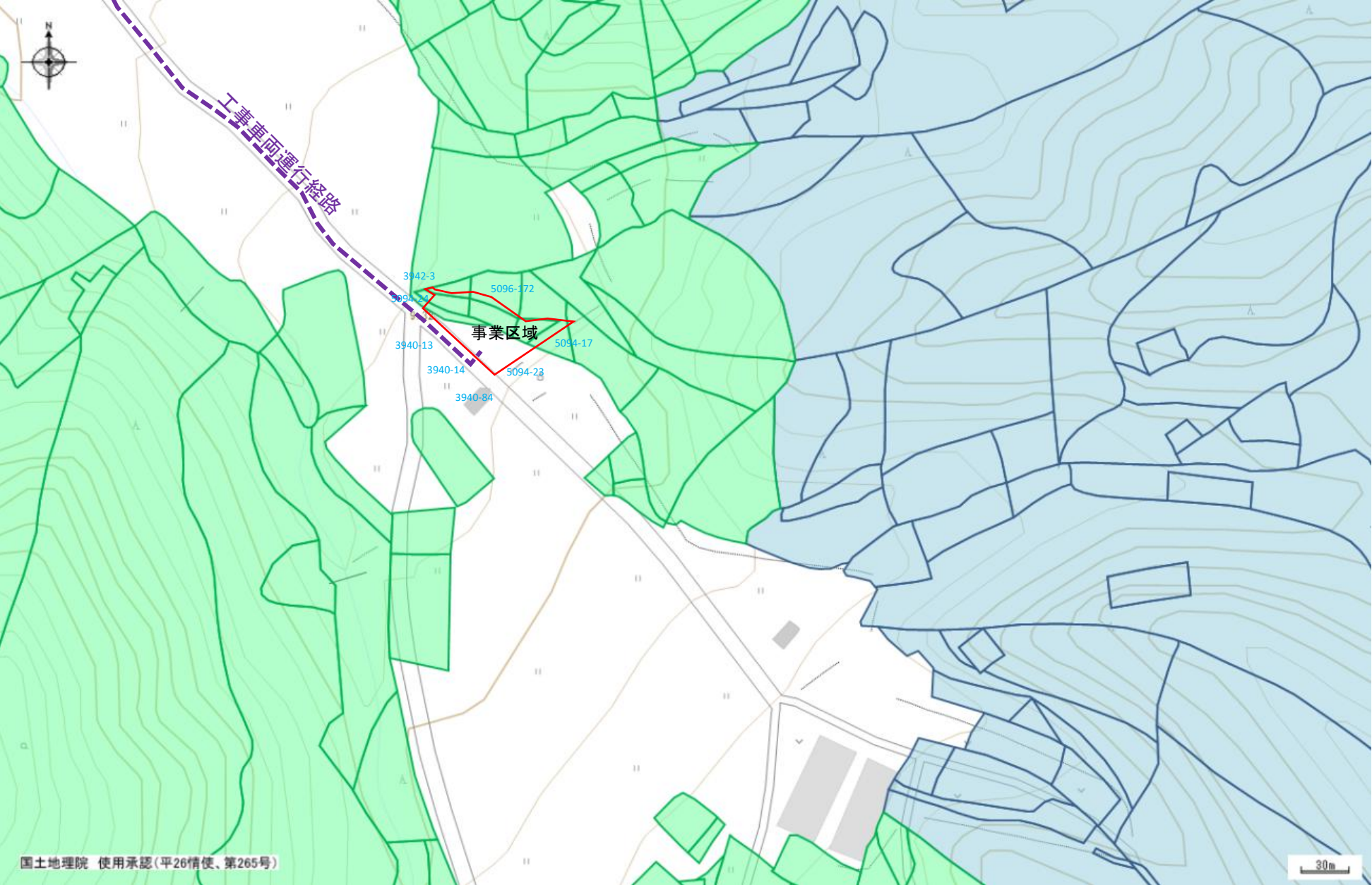
			草木の繁茂がない。			
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。			
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。			
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。			
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

位置図

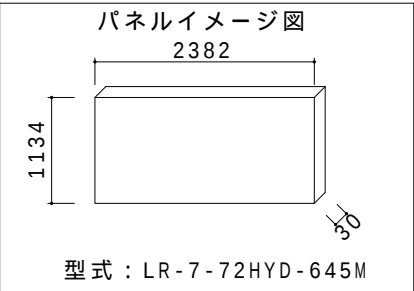
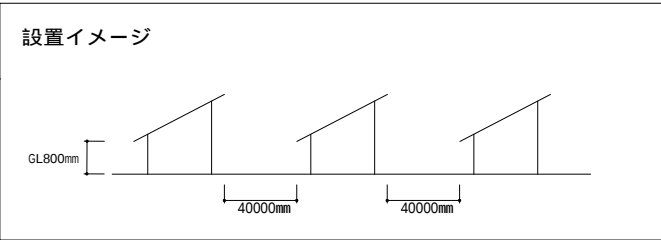
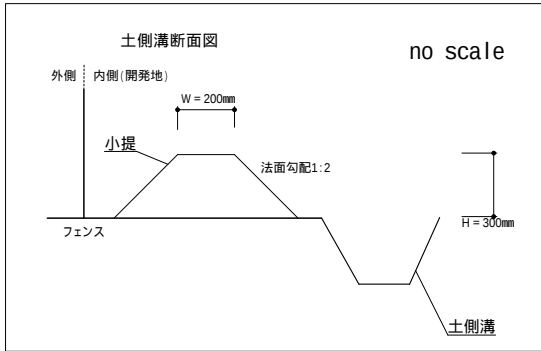


事業区域図(森林)

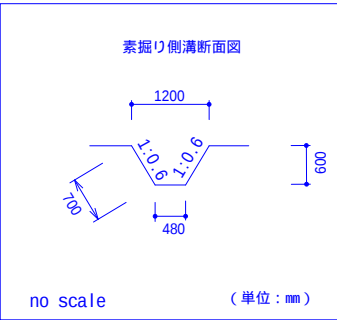


GP030龍野
〒386-0701
長野県小県郡長和町和田字野多谷5094-10

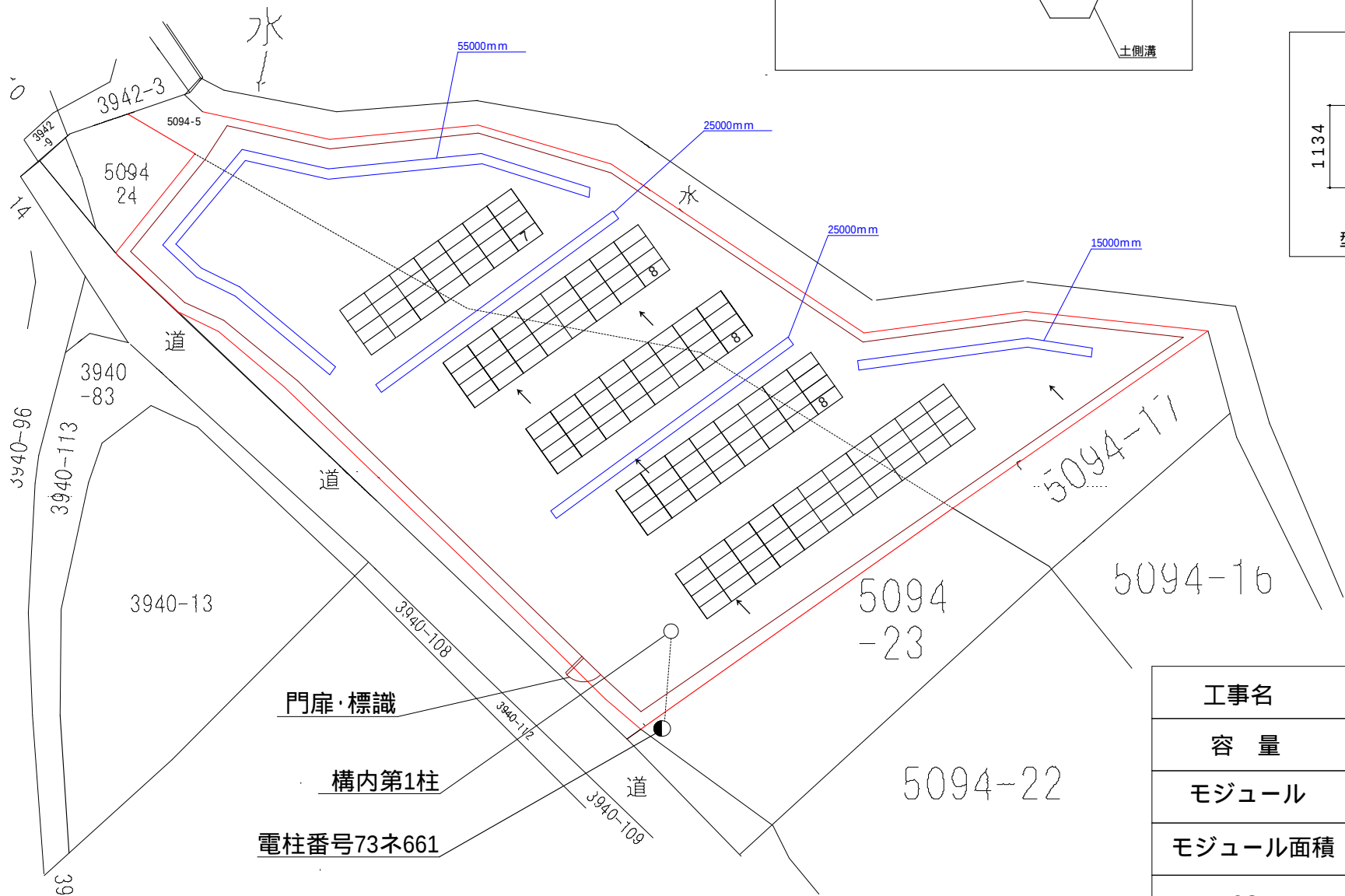
レイアウト図



	雨水浸透土側溝
	フェンス
	敷地境界線
←	雨水の流れ

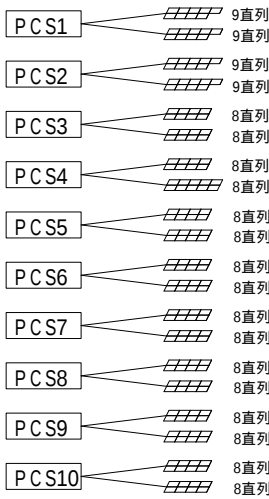


S=1:500



工事名	太陽光発電設備設置工事	
容 量	出力容量 49.5kw	モジュール容量 109.20kw
モジュール	LR-7-72HYD-650M (2382 × 1134 × 30) 168枚	
モジュール面積	410.58㎡(2.701 × 165)	
PCS	HUAWEI 4.95 (SUN2000 4.95KTL NHL2) × 10台	
架 台	アルミ架台 / 角度20度 / スクリュー杭基礎	
パネル方位	真南0度	
設置場所	原野、山林	
事業面積	2261.286㎡	

系統図



図面名	縮尺	作成日	作成者	モジュール枚数・容量	土側溝
太陽光モジュール配置図	1/500	2025/09/01		650W × 168枚 = 109.20kW	総延長 = 120m





(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

令和7年 10月 28日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあつて、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		長野県上田市中央2-10-15 株式会社グリーンプランフォー 代表取締役 小林桂三
事業太陽光発電施設の設置の場所		小県郡長和町和田字野多谷5094-10, 5094-5 (設備ID 無し 小売電気事業者との相対契約)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		鍛冶足地区全戸 回覧と事業基本計画書への記載
説明会の概要	日時	令和7年 9月 28日 19:00～20:00
	場所	鍛冶足公民館
	参加者数	18名
	説明を行った者の氏名(法人にあつては、氏名及び役職名)	(株)グリーンプランフォー 取締役専務 XXXXXXXXXX

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

- (添付資料) 1 説明会で配布した説明資料
- 2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

R7. 9 .28(日) 19:00～ 鍛冶足公民館

住民説明会資料

本日の資料内容

- ・表紙
- ・本日の説明会について
- ・設置予定地
- ・発電所事業データ / 防災対策・維持管理
- ・立面図
- ・配置図

説明者:株式会社 グリーンプランフォー



〒386-0012長野県上田市中央2-10-15千曲錦ビル

TEL 0268-71-6750

本日の説明会について

本日はお忙しいなかご足労いただき、ありがとうございます

皆さま、本日はお忙しい中、鍛冶足地区の太陽光発電事業に関する説明会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の説明会では、私どもが計画しております太陽光発電施設の概要や工事の進め方、安全対策、そして地域の皆さまへの影響について、できる限り分かりやすくご説明させていただきます。

この地域で事業を行うにあたり、皆さまにご理解とご安心をいただくことが何より大切だと考えております。私どもからの一方的なご説明だけでなく、皆さまからのご質問やご意見をしっかりと伺い、誠意をもって対応していくための大切な機会と考えどうぞ最後までお聞きいただき、忌憚のないご意見をお寄せくだされば幸いです。

本日はよろしく願いいたします。

なお、雨水対策や安全管理等に十分配慮した計画を立て、近隣にご迷惑をおかけしないよう最大限に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

設置予定地 下図の2か所の場所で予定しております



設置予定地

以下の2か所の場所で予定しております



予定地①

発電所事業データ（予定） / 防災対策・維持管理

設置データ (2025.9月現在計画)

- ・ 設置場所： 小県郡長和町和田宇野多谷5094-10
- ・ 敷地面積： 1,324 m²
- ・ パワコン容量： 10台 49.5kw （モジュール109.88kw）
- ・ 架台： アルミ架台、傾斜15度
- ・ 基礎： スクリュー杭
- ・ 年間発電量： 約54,450 kwh
- ・ 工事開始予定： 2025年 11月下旬 ～

緊急連絡先

〒386-0012 長野県上田市中央2-10-15

株式会社 グリーンプランフォー TEL: 0268-71-6750

担当：柳澤 携帯：090-5145-1528 稲垣 携帯：090-2063-0561

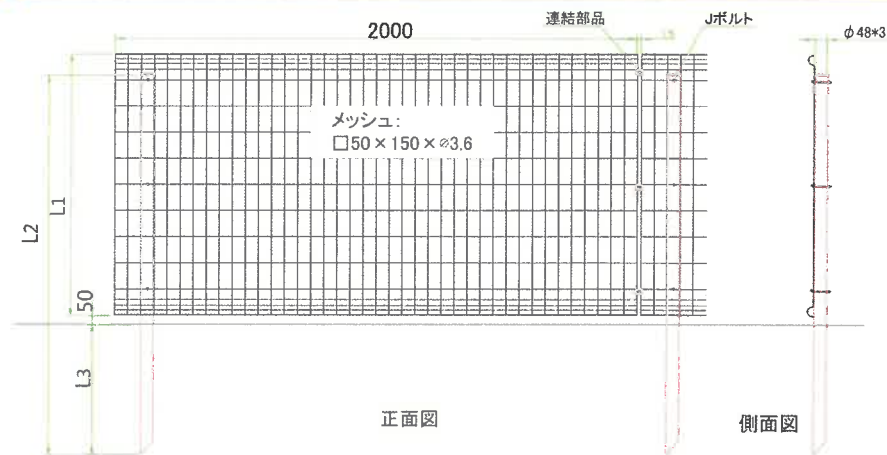
防災対策／維持管理

- 雨水処理： 素掘り側溝設置による場内浸透処理
・側溝 幅120cm×深さ70cm
メンテナンス・側溝の泥上げ、清掃（適宜）
- 雑草対策： 定期的な除草、防草シート
- 安全対策： フェンスの設置による外部侵入防止、
看板（高圧注意・侵入禁止）設置による周囲への
注意喚起、門扉の施錠
- 景観対策： フェンスを目立たないブラウン色使用
- 環境対策： 低反射コーティングパネル使用
- 事業終了後： 原状復旧

※ 詳細は、別紙配置図に記載



製品標準図



本体 規格・仕様

全 体	仕 様
フェンス本体	炭素鋼製 SS400 亜鉛メッキ100g/m ² +流動浸漬塗装
支柱	
連結部品	AL6005-T5アルミ 材質 表面処理 陽極酸化
Jボルト、六角ボルト、六角ナット	ステンレス鋼製 1.4301

※ 日本工業規格(JIS A6518ネットフェンス網成部材、JIS A6513金属製格子フェンス及び門扉)の強度基準に基づいた設計となっています。

基礎施工



※ 以上3种方式都可以将支柱敲入土壤，手打ちタイプ和電動ハンマー施工更加便捷。

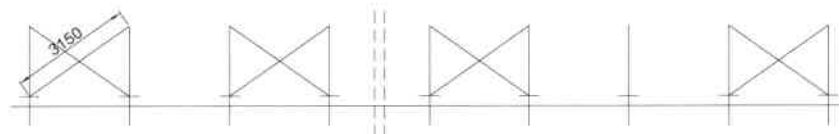
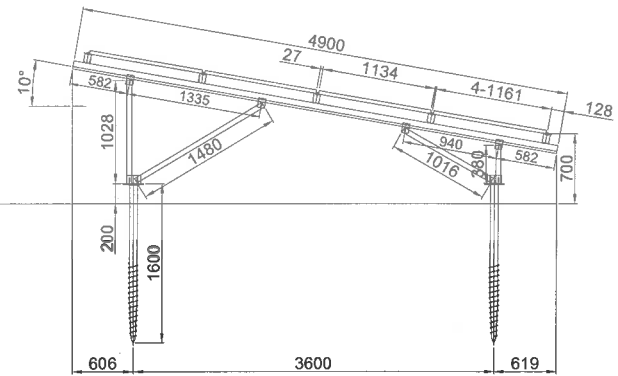
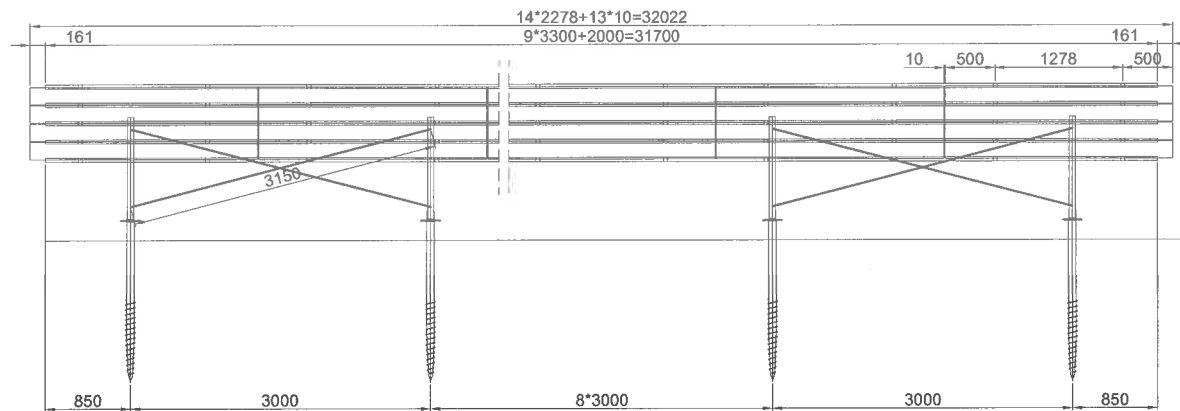
サイズ表

型 式	柵高(L1)	柱埋込み(L2)	柱長(L3)	連結部品数	Jボルト数
JR-F06	600	250	840	2	2
JR-F08	800	370	1100	2	2
JR-F10	1000	500	1430	2	2
JR-F12	1200	550	1680	3	3
JR-F15	1500	750	2180	3	3
JR-F18	1800	900	2630	3	3
JR-F20	2000	1000	2930	4	4

※ 上記以外の仕様が要望される方、お気軽にお問い合わせください。

施工事例





モジュール寸法	2278*1134*35 mm
アレイ	4*14
風速	35 m/s
地表面粗度	III
積雪量	60 cm
地域分類	一般の地方

工事件名	00	注: 粘性土、N $\geq$ 5
番号	00	
日付	00	

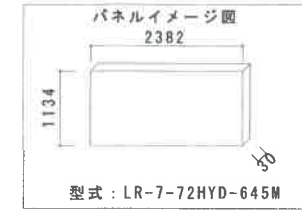
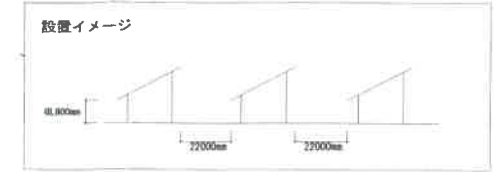
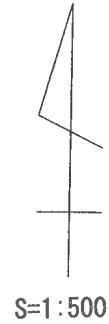
バージョン	1.0
単位	mm
角法	



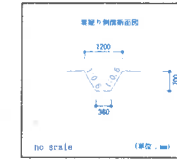
ナントン・リード・ソーラー・テクノロジー株式会社

レイアウト図

〒386-0701
長野県小県郡長和町和田字野多谷5094-10



	雨水浸透土留溝
	フェンス
	段地境界線
	雨水の流れ



系統図

PCS1	9連列
PCS2	9連列
PCS3	9連列
PCS4	8連列
PCS5	8連列
PCS6	8連列
PCS7	8連列
PCS8	8連列
PCS9	8連列
PCS10	8連列

工事名	太陽光発電設備設置工事	
容量	出力容量 49.5kw	モジュール容量 109.88kw
モジュール	LR-7-72HYD-650M (2382×1134×30) 168枚	
モジュール面積	410.58㎡ (2.701×165)	
PCS	HUAWEI4.95 (SUN2000 4.95KTL NHL2) ×10台	
架台	アルミ架台/ 角度15度 /スクリュー杭基礎	
パネル方位	真南0度	
設置場所	原野	
事業面積	1324㎡	

図面名	縮尺	作成日	作成者	モジュール枚数・容量	備考
太陽光モジュール配置図	1/500	2025/09/01		670W×164枚=109.88kW	

説明会経過報告書

令和 7 年 9 月 30 日

(あて先)

届出者 住所 長野県小県郡青木村夫神 332-1
氏名 株式会社グリーンプラン・フォー
代表取締役 小林桂三

住民等への説明経過について、次のとおり報告します。

1 開催日時	R 7 年 9 月 28 日 (日) 19 : 00 ~ 20 : 00
2 開催場所	鍛冶足公民館
3 出席者	説明者 : (株)グリーンプラン・フォー [REDACTED] 出席者 : [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] 計 18 名
4 説明内容	別添資料参照
5 質疑等 (事業者の回答を 含む)	別紙参照
6 その他	
7 記録者	(株)グリーンプラン・フォー [REDACTED]

用紙が不足する場合は、別紙の添付も可能

別紙

5 質疑等 (事業者の回答を含む)	予定地①について Q:地権者は誰？ A:個人情報なので言えないのですが質問者の方が御推察されている方です。 Q：どうやってこの土地をみつけたのか？ A：弊社でインターネットを活用し休有地を見つけた次第です。 Q：水害の対応はどうなるのか、また弊社の発電所で起きたことはありますか？ A:今まで水害が起きた事はありません、有事の際は緊急連絡先にご連絡いただければ上田から駆けつけます。 Q:台風19号の際水路の水かさが増えたことがあります。大丈夫ですか？ A:水路については現状のまま維持し手を加えません Q：パネルの寿命は何年ですか？ A：30年以上です。 Q：30年後はどうするのか？ A：現時点ではパネルを張り替え太陽光発電を行う予定ですが、事業を終了する場合は原状復旧致します。また、区と協定書を結び取り決めに設けております。 Q:道路から離れた場所に設置しますか？ A:その通りです Q：町に申請はだしていますか？役場の許可を得ていますか？
------------------------------	--

A：県と町の両方に申請しています。

Q:発電所建設で景観が悪くなるのでは？

A：地域の景観との調和を重視し、落ち着いた茶色のフェンスを使用しています。

Q:反射光の方角を教えてください

A:南側に反射します。

Q:反射光が心配です

A:現在主流となっている太陽光パネルは低反射の物が採用されております。住宅屋根に設置されているパネルをご覧くださいても眩しさを感じることはないと思います

Q：ニュースを見た際総裁選では太陽光発電反対していた、世間の意見とは逆行しているのでは？

A：総裁選の件はメガソーラーについてで、弊社で行うのは低圧の発電所になります

Q：今後御社で作った発電所は他社に売却することはありますか？また、海外資本への売却の可能性はありますか？

A：他社に売却することはありますが、海外資本へ売却の可能性は低いです。その理由として海外投資家の多くは規模の大きいメガソーラー案件を優先的対象としている為です。

Q：転売先も太陽光発電を行いますか？

A：その通りです。

Q：発電所設置後の地目を教えてください？

A：雑種地になります。

Q：トレンチとは地面を素掘りするだけですか？

A:その通りです。定期的にメンテナンスで土をかき出します。

	Q：大雨の時はどうするのか？ A:雨水計算により側溝の容積を算出しております。通常の雨量の 1.3 倍以上の計算でトレンチを掘り場内に浸透させます。 予定地②について Q：予定地②工事をする際どこから資材を搬入しますか？その場所は私有地ですか？ A：予定地①の南側から搬入します。私有地になります。 Q：トレンチの深さが 80 cm だと隣接している水路よりふかくなるのでは？ A:ならないと思います。 Q：予定地①②の面積を教えてください A：①が 1324 m²②が 2234 m²になります。事業面積については①と②共に 1000 m²くらいになります。 Q：地権者から購入した土地は予定地①②だけですか？ A：別の場所も購入していますが、青地の農地の為現時点では、具体的な用途は未定です。
--	--

上記内容を確認いたしました。

鍛冶足区長

